

高千穂高等学校 ICTまちづくりLABO概要

1 目的

高千穂高校を「ICTを活用したまちづくりの拠点」と位置づけ、地域間連携・協働や地域活性化を図る。そのため、世界農業遺産(GIAHS)にも認定された豊かな地域資源を各コンテンツに反映したLABOとすることで、地元で学び・働き続けられる環境を確保し、未来を担う「西臼杵人」育成を目的とする。

2 LABOの柱

・地域おこしの拠点づくり

生徒や高校が接着剤となり地域の多様な主体や外部の人を結び付け、元気で活力ある地域づくりを実現する。

・生徒が誇れる学校づくり

高千穂高校でしかできない経験・学習による生徒の学習意欲や探究心の向上を図り、グローバルな視点を育成し、よりの確な進路実現や大学進学意欲の向上を実現する。

3 LABOコンセプト

(1) 遠隔講座の拠点

例)世界農業遺産、ビジネス各論、マーケティング、国際情勢、表現力・コミュニケーション力

(2) 住民向け講座の拠点

例)SNS活用方法、WEBマーケティング、IOTを活用した農業、キャリア育成講座

(3) 交流の拠点

例)五ヶ瀬中等他県内外の高校・大学、姉妹都市(花蓮市)の高校、世界中のGIAHS地域の高校生、海外の大学生、高千穂高校卒業生、スマコレ、途上国 の学生

(4) 地域課題解決の拠点

例)西臼杵3町をつなぐ拠点、地域の魅力発信拠点、大学のサテライトオフィス・フィールドワーク拠点

4 LABOの機能・設置場所・設置機材のイメージ

(1) LABOの機能

- ・高速インターネット(情報発信、リモート講演・授業・ディスカッション、映像の編集、資料の作成)
- ・大型ディスプレイ・スクリーン(大画面での映像視聴、リモート講演・授業・ディスカッション)
- ・自由度の高い什器配置(少人数のミーティングから大人数での講演・講座に対応)
- ・飲食スペース(カフェ機能を持つ休憩スペース)
- ・ファクトリースペース(オリジナルのモノを製作できる空間)

(2) 設置場所 高千穂高校図書館2F

(3) 設置機材

フリーWi-Fi、プロジェクタ、音響機器、webカメラ・集音マイク、大型ディスプレイ、iMac PC(Surface)、iPad、プリンタ(複合機)、Tシャツプリンタ等